

2013
387号
2

社団法人
長崎青年協会



1月定時例会：ホテルニュー長崎



第四十四期会長
佐藤 誉

早いもので新年から1ヶ月が経ちました。1月17日にはこの冬初めての「インフルエンザ流行注意報」が去年より1週間早く、また、24日には「インフルエンザ流行警報」が2シーズンぶりに発令されるなど、インフルエンザが猛威を振るっております。外出後の手洗い、うがい、マスクの着用を心掛けましょう。さて、1月の例会では、長崎初のバリスタでAttic（アティック）の代表である野田信治様に講演してもらいました。勇気を出して一歩踏み出し、長崎の文化の素晴らしさを仕事を通じて発信している姿は、当会のメンバーの背中に入っている「Challenger(チャレンジャー)」そのものでした。同世代の方がこれだけ頑張っているのだから、私達も負けずともっと頑張らないといけないと改めて感じました。本年度も、残すところ2ヶ月を切りました。次年度の予算についての話し合いも始まり、当会にとって引継ぎの時期に入りましたが、ランタンフェスティバル、2月定時総会等まだまだ事業が残っております。最後まで妥協を許さない、こだわりのある事業にチャレンジしていきたいと思います。

会長挨拶 スローガン

長崎のイベント情報

長崎ランタンフェスティバル

期間/2月10日～24日

場所/湊公園・新地中華街・浜市アーケード
観光通り・興福寺・崇福寺ほか

主なイベント

春節礼祭	2月10日 (日)
皇帝パレード	2月11日 (月)
媽祖行列	2月17日 (日) 2月24日 (日)



2月の花言葉

☆ 梅 ☆

高潔・忠義・澄んだ心・忠実・独立

2月号もくじ

1月定時例会	2ページ
頑張ってます委員会	3ページ
節分・バレンタイン特集	4ページ
～NYALEGEND～	5ページ
誕生者紹介・委員会だより	5ページ

2月の活動予定

- 5日 理事会
- 18日 理事会
- 21日 定時総会・定時例会
- 24日 媽祖行列

発行 (社) 長崎青年協会 会長 佐藤 誉

事務局 長崎市江戸町4-5三瀬ビル3F TEL 095-821-1625 FAX 095-823-7375

URL <http://www.nya.or.jp> MAIL info@nya.or.jp 印刷 タイピント印刷

1月定時例会

平成25年1月21日（月）ホテルニュー長崎において、1月定時例会が行われた。まず始めに会長挨拶では「皆さん明けましておめでとうございます。今年度もまだ事業等あるので、皆さんに支えて頂き、次年度の『戸村丸』に引き継いでいきたいと思います。」とあった。

続いて委員会報告に移り、例会委員会からは本日の講師講演の件と、2月の定時総会、3月の送る夕べへの呼び掛けが行われた。広報委員会からは年末の袋詰めの御礼と、12・1月合併号が諸事情により元日に届かなかったことのお詫びがあった。続いて新人涉外委員会より、2月24日（日）に行われるランタンフェスティバルの媽祖行列に参加することの発表と人員要請が行われ、また、3月に行われる新人事業（今年度は他団体との交流もあるそうだ）への呼び掛けも行われた。続いて、谷川恵太君、力武伸一君の2名が新たに仲間に加わったと紹介され、いつもの唱和で歓迎された。次に企画委員会は、3月の会員親睦事業に向けた巷で噂の？沖縄通信メール（沖縄の気温、方言、プチ情報などが掲載）で笑いを誘い、参加を呼び掛けていた。今年度すでに事業が終了している交流委員会と地域福祉委員会からは、今後の事業への参加協力の約束、本部からは2月の定時総会への出席依頼がなされた。

同好会報告ではゴルフ同好会より1月27日（日）に行われる第3回佐藤誉会長杯ゴルフコンペの開催と参加の呼び掛けがあった。

続いて講師講演では、Attic（アティック）代表の野田信治氏による「長崎初のバリスタ～野田氏のたどり着いた道～」が行われた。

野田氏は高校卒業後、ホテルや飲食店での勤務を経てお父様が経営されていた「長崎とんかつ西洋亭」に入社。そこで出会ったお客様の誘いで台湾へ行くことになったそうだ。そして台湾で仕事をして3年目、知人の勧めで目にしたカプチーノに心を奪われ一念発起しバリスタの道へ。そこでいろんなことを学び、2年後長崎に帰郷、そして喫茶店を出店したそうだ。（当時、カプチーノを煎れる機械は大阪まで行かないと買えなかつたらしく、しかもかなり高額と話された。）そして、とあるきっかけで誕生した「坂本龍馬」「岩崎弥太郎」「シーボルト」などが描かれたカプチーノが一躍全国紙に取り上げられ、県外からも多くのお客様が来店されるようになったそうである。

現在は県内外を問わず、コーヒー・ラテアート教室を開催したり、コーヒーの歴史や現地の農園の様子を伝えたり、飲み比べなどを通じて楽しくコーヒーの文化を広め、また長崎は日本でコーヒー発祥の地であることなど、長崎のことも伝えているそうだ。



「明けましておめでとう。」



「媽祖行列お願いします。」



「青年協会へようこそ！」



「ご結婚おめでとう！！」



「一歩踏み出す勇気！」



「講師講演ありがとうございました。」

親和観光
寿し・割烹 **じん**
〒850-0904
長崎市船大工町6-10（中尾ビル）
・095(820)0787
ナイト・イン ・095(824)9683
<http://sushi-kappou-jin.com/>
OB 中尾 英徳

不動産 **A B C**
浜町店 TEL 816-3232
長崎駅前店 TEL 811-3232
長崎大学前店 TEL 849-3232
「この広告を見た」で
仲介手数料10%割引致します
OB 松本 貞臣

AGURA. グループ **花盛 GURA.**
本店：長崎市滑石1丁目1-16
095-857-4554
住吉店：長崎市住吉町1-16 堤ビル2F
095-843-8289
会員 山口 健太郎

ソーケン株式会社
介護・湯灌・警備・派遣等
なんでもご相談下さい
長崎市住吉町21-7
095-894-9500
会員 佐藤 誉

まわたり
弁当販売
長崎市浜口町12-8
tel 095-844-3835
fax 095-844-1707
会員 馬渡 一正

1月定時例会

最後に何事も勇気を持って一步踏み出し、そして自分の住むこの長崎から発信しましょうと話され講師講演は終了した。

続いて会員の小西君が結婚したとの喜ばしい報告があり、それから1ヶ月の誕生者祝いと続き、最後に長崎青年協会の歌を歌い、今年最初の例会が無事に終了した。



お誕生日おめでとう



「かんぱ~い！！！」

～二次懇親会～

例会終了後、中尾君のお店「寿司割烹仁」にて二次懇親会が行われた。まず直前会長の山口君より、「今年度もまだ事業があるので最後まで気を抜かないよう。」と乾杯の挨拶し、宴が始まった。今日仲間になったばかりの2人とも参加し、皆に自己紹介をしていた。それから3月の会員親睦活動について話は持ちきりだった。そして最後は例会委員長の荒木君の「拳を握れ～」の掛け声で締めくくられた。

頑張ってます委員会

新人涉外委員会（長崎ランタンフェスティバル）

皆さん明けましておめでとうございます。新人涉外委員会です。さて皆さん、長崎恒例のあの祭りが近づいて参りました。そう、2月と言えば「長崎ランタンフェスティバル」です！2月10日から24日まで開催されているこのイベント。長崎新地中華街はもとより、浜市・観光通りアーケードなどの市内中心部に、約1万5千個にも及ぶランタンが飾られ、湊公園をはじめ各会場には大型オブジェが所狭しと飾られています。我らが長崎青年協会もこの一大イベントに長年携わってきました。そして今年ももちろんやります媽祖行列！！長崎に入港した唐船の乗組員たちが、江戸時代に実際に行っていたこの行列。航海安全の神とされる媽祖を唐人屋敷の福建会館天后堂や興福寺の媽祖堂に安置するまでの行列を再現します。行列の主催者である荷主の役を務めるのは我らが青年協会会长佐藤誉君！！そしてその荷主の通訳を行う唐通事役は次年度会長戸村大助君です！！今年度と次年度の両会長が主役になるこのイベント、是非その雄姿を見に来て下さい。日時は2月24日（日）午後2時からの予定となっております。みんなで長崎ランタンフェスティバルを盛り上げましょう！！



2月といえば・・・

～節分～

節分（せつぶん、または、せちぶん）は、各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のこと。節分とは「季節を分ける」ことを意味している。江戸時代以降は特に立春（毎年2月4日ごろ）の前日を指す場合が多い。この場合、節切月日の大晦日にあたる。本項目では、立春の前日の節分、およびその日に行われる伝統的な行事について述べる。

ご先祖に永遠の安らぎを

有限会社
桂石材

墓碑・墓地・戒名彫込・施工販売
市内各所墓地紹介いたします

〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷425-3
TEL. 095-856-4094 FAX. 095-856-7533

会員 桂 雄 剛

特別養護老人ホーム
かたふち樹

Katatuchi mireba

長崎市片淵3丁目500番地2

095-828-5680
FAX 095-811-2133

会員 茂 田 法 人

事業内容：塗装工事・防水工事
止水工事・内装工事

テクノワーブル

Techno Wave

〒850-0944 長崎市八景町16番1号
TEL/FAX 095-826-6164
携 帯 090-8769-6164
E-mail:mik6164@mxa.cncm.ne.jp

会員 古 里 一 紀

100年の屋根造り

K共栄住建株式会社

本 社 長崎市横尾3-21-14
中央事業部 謙早市多良見町木床323
県南事業所 長崎市小ヶ倉3-50
tel. 0957-43-3104 fax. 0957-43-3066
kyouei_jyuken@ec2.technowave.ne.jp

会員 小 林 伸 也

鷹の尾屋

〒850-0975
長崎市三和町129番地
TEL . 095-878-3761

会員 荒 木 訓 弘

2月といえば・・・

《節分続き・・・》

一般的には「福は内、鬼は外」と声を出しながら福豆（炒り大豆）を撒いて、年齢の数だけ（もしくは一つ多く）豆を食べる厄除けを行う。また、イワシの頭をさした柊などで邪気除けを行う場合も多い。これらは、地方や神社などによって異なってくる。

節分の日付は現在は毎年2月3日であるが、これは1985年から2024年ごろまでに限ったことであり、常にそうではない。

1984年までは、4年に1度の閏年に2月4日だった。2025年から（2021年からになる可能性あり）は閏年の翌年に2月2日になる。グレゴリオ暦での最初の節分となった1873年から22世紀初頭までの具体的な日付は表のようになる（重複している年はどちらの欄を使っても正しい日付が出る）。節分の日付は数十年のスケールで徐々に前倒しになってくるが、4で割り切れても閏年とならない1900年、2100年、2200年・・・の翌年に1日遅れて帳消しとなる。

節分は立春の前日であり、立春は太陽黄経が315度となる日である。このように、間接的に天体の運行に基づいているので、日付は年によって異なり、また未来の日付は軌道計算に基づく予測しかできない。なお厳密には、基準とする標準時によても節分の日付は異なるが、日本以外では節分を祝う風習がないので、旧正月のように国による日付の違いが話題となることは少ない。

長崎では各神社で節分祭が行われ、年末年始に納められた古い御札を焼納し、高く昇る炎で神靈をお送りする火焼き神事（古札焼納神事）や年男年女による豆撒き行事が行われた。



～バレンタインデー～

聖バレンタインデーの始まりは古代ローマ時代にさかのぼる。この時代のローマにおいて、2月14日は女神ユノの祝日だった。ユノはすべての神の女王であり、家庭と結婚の神様とされていた。毎年ユノの祝日である2月14日の翌日、2月15日から「ルペルカリア祭」という安産のお祭りが行われていた。当時、若い男性と女性は別々に生活していたため、ルペルカリア祭は男性と女性が巡り合う唯一のお祭りだった。ルペルカリア祭の前日、若い女性達は札に自分の名前を書き、桶の中に入れ、翌日、男たちは桶から札を1枚引き、その札に書いてある名前の女性とお祭りの間パートナーとして一緒にいることが定められていた。そして多くのパートナーたちはそのまま恋に落ち、結婚することになった。

ルペルカリア祭でのこの風習は約800年間続けられてきたが、ローマ教皇のゲラシウスは「愛する人を故郷に残した兵士がいると士気が下がる」という理由から、これを禁止した。キリスト教司祭だった聖バレンティウスは結婚が許されない兵士を哀れに思い、秘密に結婚させたが、捕らえられ、処刑されてしまった。この事に反発したローマの若者達は、前日の2月14日に好きな娘に愛のカードを渡すことを思いつき、そのカードに愛の殉教者、聖バレンティウスの名を書いたそうだ。その後、イギリスやフランスで元々考えられていた「2月14日は鳥が結婚する日」などの言い伝えと融合し、現在のように「バレンタインデーは恋人達の日」というイメージが出来上がってきたのではないかと考えられている。



日本でチョコレートが贈られるようになったのは、1958年にメリーチョコレートが東京の伊勢丹で販売促進を目的としたキャンペーンを展開した事がきっかけで、初めはあまり反響がありませんでしたが、その後女性誌に取り上げられ現在のようなブームになったそうだ。

NYA LEGEND



平成22年度卒業
麓 浩二〇B

今日は麓浩二〇Bの事務所にお邪魔して来ました。青年協会に入会した動機を尋ねると、麓OBは高校生まで鹿児島県で過ごし、大学をきっかけに長崎に来たそうです。大学卒業後は長崎の企業に就職したが、その会社が倒産して鹿児島に帰ろうと思っていた所、麓OBの奥様の実家が自営業を営んでおり、そこで一緒に働くことになった。しかし当時長崎には知人、友人が全く居なかつたので、仲間を作るために長崎市役所などに足を運び色々当会みたいな団体を調べていた。そしてとあるお寿司屋さんで大将にその話を相談していた所、たまたま隣で食事をしていて話を聞いていたのが渡辺OBで、青年協会の話を下さってなんと翌月に入会したそうだ。9月に入会し早速「江戸町公園おくんち広場」に参加し、とても楽しかったのを今でも覚えていると笑顔で話された。そして事業等一生懸命頑張って仲間もたくさん出来てきたとの事。それから在籍中の話を伺ったら、地域社会委員長の時に「サマーキャンプ」「おくんち広場」「ソフトボーラー」等全ての事業でゴミ拾いをして、「ゴミ拾いをすることによって、街が綺麗になり、拾う人の意識も変わり、それを見ている人の意識も変り、ゴミを捨てる人が減ってくる。」とても良い事業だったと話された。それから臓器提供のドナーが初めて長崎に来る事となった時、県庁の臓器ネットワークの会に取材に行って、例会委員長の時に臓器ネットワークの会の方を講師で招いたそうです。最後に現役の会員へとお願いしたら、「せっかく会に居るのだから、後悔しない様に今しか出来ないことを逃げないで頑張って下さい。そして何事にもトライ出来る40歳を目指して下さい。」と話された。

(麓OB御多忙の中、貴重なお時間を取らせて頂き有難うございました。)

新人紹介



たにがわ けいた
谷川 恵太君

昭和57年8月24日(29歳)

パブリックバーファイブワン
PUBLIC BAR FIVE ONE

明るく、社交的に努めます。



りきたけ しんいち
力武 伸一君

昭和59年5月16日(28歳)

岩永法律事務所

何事にも積極的に取り組み、最後までやりぬきます。

2月誕生者紹介

江崎 晃史君(39) 昭和49年	2月 3日生(平成17年10月入会)	手塚 浩介君(37) 昭和51年	2月16日生(平成21年 4月入会)
本村龍一郎君(37) 昭和51年	2月 3日生(平成23年12月入会)	桐野 克哉君(31) 昭和57年	2月17日生(平成21年 4月入会)
宮崎 高舟君(37) 昭和51年	2月 8日生(平成15年 1月入会)	桂 雄剛君(37) 昭和51年	2月20日生(平成12年 6月入会)
小林 伸也君(37) 昭和51年	2月15日生(平成21年 5月入会)	大楠 浩生君(35) 昭和53年	2月26日生(平成21年 4月入会)
池田賢太郎君(36) 昭和52年	2月16日生(平成11年 5月入会)		

委員会だより

例会委員会

例会も残り2回となりました。送るタペに關しましては、現役会員はもちろんOB会員の方々のご参加宜しくお願いします。

新人・渉外委員会

新しい仲間が増えました！谷川君と力武君です。宜しくお願いします。

地域福祉委員会

当委員会は残りの事業をバックアップしていきます。

交流委員会

今年度も残り僅かになりましたが、交流委員会一同、事業のサポート頑張って参りますので宜しくお願いします。

企画委員会

3月の会員親睦活動in沖縄まで1ヶ月を切りました。絶対に良い事業にします。期待して下さい。

広報委員会

とうとう残すは3月号だけになりました。最後まで委員会一同全力で頑張ります。

Light Blue
〒852-8107
長崎市浜口町12-9
すし善ビル202
TEL. 095-845-0177
会員 田中 徹

shop Yokota
思案橋店 酒の宿
長崎市本灰石町1-7(ウイズビル前)
tel 095-822-7007
fax 095-823-0777
会員 常盤俊介

株式会社 本村
総合建設業 リフォームガーデニング
造成 駐車場
本社 長崎市女の都2丁目21-5
TEL/FAX 095-843-0742
E-mail:sinel-motomura@ori.bbq.jp
会員 本村龍一郎

時計・眼鏡・補聴器・宝石・天体望遠鏡
有限会社 とみた
長崎市浜口町7-10
tel. 095-844-0768
fax. 095-846-6203
<http://www.y-tomita.co.jp>
会員 富田宜邦

パブリックハウス マレイグ
Mallaig
営業/17:00~翌2:00
店休日/日曜日
住所/長崎市大黒町8-1
電話/095-821-9170
会員 熊井英哲

崎野自然公園 (2001年 委員長 三瀬 健司)

平成13年度野島会長より地域社会委員長に。その年の協会の3本柱は、青少年育成事業・くんち前夜祭・福祉事業など地域社会委員会の事業内容になっている事にありました。そこで3つの事業とも地域社会委員会の事業内容になつた。その年の青少年育成事業は、長崎港をクルーズし1泊のキャンプをするという流れで活動した。普段は海から見ることのない長崎を見て子どもたちと一緒に感激した。長崎では長崎で有名な飛船に乗る、千葉県の崎野自然公園でおこなつた。みんなで力レースを作つた後、キャンプは上がつたか！本当にヤバイことを覚えていた。この時、火炎が火柱となり5～10mは上がつたか！！本当にヤバイことを覚えていた。この時は灯りの有難みが皆わかつたと同時に、自然の中では色んな音が聞こえるのだと思った。青少年育成事業の企画で一番苦労したのは、当時助成金を貰いたい関係上、長崎港をクローズしないといふ前提条件があつたからキャンプをする場所を最後まで決められなかつたことです。最終的に子ども達と市民の森に行き、茂木の方へ下りて行つたり、と苦労したり、と苦労しました。まさにナイチャーフーム協賛会様・九州海事広報協会様・長崎港・海の日協賛会様等関係各所に大変お世話になつたことを今でも感謝しております。本当に貴重な経験をさせていただきました。